

1. 全体の販売概況

開市日 7日(前年比 -1日)

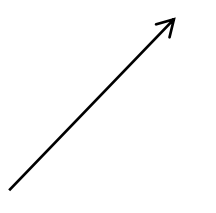
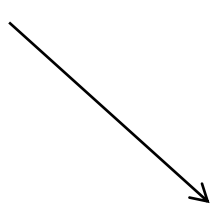
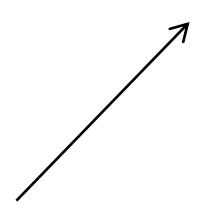
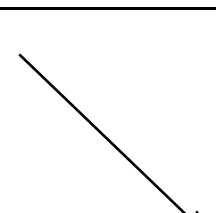
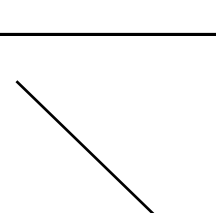
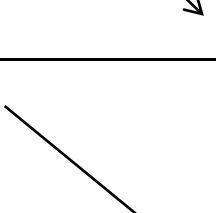
入荷量 : 40, 563トン(前年: 49, 282トン 前年比82%) kg単価 : 366円(前年: 368円 前年比99%) ※入荷量・kg単価は野菜、果実の合計

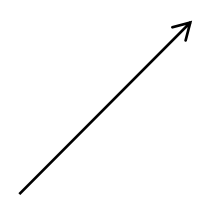
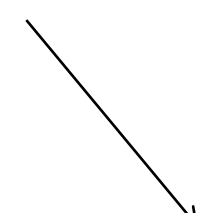
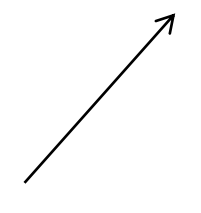
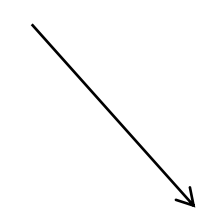
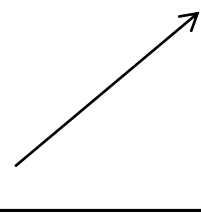
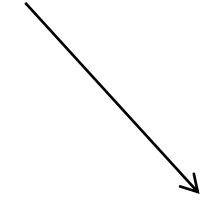
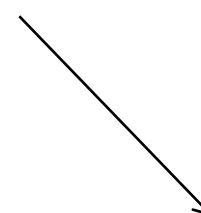
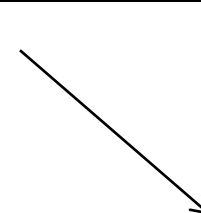
4月中旬は昨年に比べ開市日が1日少なく、1日当たりの入荷量は青果合計で前年比94%、野菜は同96%、果実は同87%となった。

主要野菜は、全体の入荷量は前年を下回ったが前年比単価安の品目が前旬に続き多かった。なす・ながなすが前年比入荷増単価安、こまつな・こねぎ・えのきだけが同前年並みの単価安、だいこん・キャベツ・レタス・きゅうり・ピーマン・ミニトマト・なましいたけが同入荷減単価安となった。一方でねぎ・たけのこ・ばれいしょ・アスパラガス・かんしょ・にんじん・たまねぎが入荷減単価高、ほうれんそう・トマト・にらが入荷量・単価前年並みとなった。

2. 埼玉県主要品目の販売概況(東京都中央卸売市場)

* 開市日が7日と前年より1日少ないため、入荷量は1日当たりの前年比としました。

品 目	項 目	4月中旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (4月下旬～ 5月上旬)		4月中旬 出回り 主力産地			摘 要	
		本 年	前 年	前 年 比 / 日 *							
小松菜	入荷量 (t)	461	453	116%	入荷量		茨城	埼玉	東京	4月中旬 結果	茨城産主力に埼玉産の加わる出回りとなった。茨城産は、出荷の谷となり前旬に比べ入荷量は減少した。一方で埼玉・東京産の入荷量が増加し総体量は前旬をやや上回った。ほうれん草の入荷量が減少したこともあり荷動き堅調で、価格は埼玉産AM袋で60-50円の保合で推移した。
	価格 (円/kg)	320	397	81%	価格		68%	20%	4%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き、茨城産主力に埼玉産の加わる出回りとなろう。両県産共に、気温上昇の予報から生育進み出荷量は増量となる見込み。販売面では、ほうれん草の入荷量が増量する予想から荷動き鈍り相場は軟調となる予想。4月下旬の価格は、埼玉産AM袋で60-50円の幅の中で弱含みを見込む。
ほうれん草	入荷量 (t)	428	527	93%	入荷量		群馬	茨城	埼玉	4月中旬 結果	群馬・茨城産中心の出回りとなった。群馬産は、秋冬作は終盤で減少したが春作は出荷増量となり前旬並みの入荷量となった。茨城産は出荷の谷となり入荷量は減少した。総体量はやや減小し、堅調な販売となった。価格は、群馬産AM袋で100-80円の保合で推移した。
	価格 (円/kg)	528	540	98%	価格		43%	41%	6%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き、群馬・茨城産中心の出回りとなろう。両県産共に気温上昇により入荷量は増加する見込み。販売面では、量販店からの特売注文もあるが総体量の増加から荷余り感が強まり販売は軟調となる予想。4月下旬の価格は、群馬産AM袋で100-80円の幅の中で弱含みを見込む。
ねぎ	入荷量 (t)	1,013	1,311	88%	入荷量		千葉	茨城	埼玉	4月中旬 結果	千葉・茨城・埼玉産中心の出回りとなった。千葉産は、春ねぎに加え初夏ねぎが増量となり入荷量は大幅に増加した。茨城産は、初夏ねぎの増量ペース鈍く入荷量は横這いで推移した。総体量がやや増加し需要も減少する時期となり販売は軟調で推移した。価格は、埼玉産Lバラで前半2,500-2,300円の幅の中で弱含みで推移した。
	価格 (円/kg)	439	337	130%	価格		39%	26%	18%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き、千葉・茨城・埼玉産中心の出回りとなろう。関東各県産は、春ねぎの出荷後半となり初夏ねぎも生育が遅れているため出荷量は減少する見通し。総体量は減少するが、需要期を過ぎているため落ち着いた販売となる見込み。4月下旬の価格は、埼玉産Lバラで2,300-2,200円の弱含みを見込む。

品 目	項 目	4月中旬 東京都中央卸売市場販売実績			今後の見通し (4月下旬～ 5月上旬)		4月中旬 出回り 主力産地			摘 要	
		本 年	前 年	前 年 比 / 日 ※							
きゅうり	入荷量 (t)	1,901	2,259	96%	入荷量		群馬	埼玉	宮崎	4月中旬 結果	群馬・埼玉・宮崎産中心の出回りとなった。群馬・埼玉産は、好天が続き気温上昇により生育回復し入荷量は前旬に比べ大幅な増量となった。宮崎産は、4月上旬の高温による急増後に低温となり生育鈍り入荷量はやや減少となった。特売も多く組まれたが総体量の増加により荷余り感強まり、価格は埼玉産Aコンテナで1,700-1,600円の幅の中で弱含みで推移した。
	価格 (円/kg)	321	401	80%	価格		29%	22%	19%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	群馬・埼玉・宮崎産中心の出回りとなろう。群馬・埼玉産は、好天が続く予報のため出荷量は増量となる見込み。宮崎産は、気温は高いものの天候不良が続き出荷量は横這いから微減となる見通し。販売面では、特売も多くGWも控えているが総体量の増加により販売は軟調となる予想。4月下旬の価格は、埼玉産Aコンテナで1,700-1,500円の弱含みを見込む。
ブロッコリー	入荷量 (t)	926	1,185	89%	入荷量		香川	埼玉	長崎	4月中旬 結果	香川・埼玉・長崎・熊本産中心の出回りとなった。香川産は、秋冬作と春作の切り替りとなり入荷量は大幅な減少となった。埼玉・長崎産は、春作の生育進み入荷量は増量となった。熊本産は、冷え込みにより落ち着いた入荷となった。総体量は前旬より大幅減となったが、大きな荷動きはなく価格は埼玉産AL(8kg)で3,400-3,200円の保合で推移した。
	価格 (円/kg)	497	511	97%	価格		29%	17%	15%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き香川・埼玉・長崎産中心の出回りとなろう。香川産は、端境を抜け春作が出荷ピークとなる見込み。埼玉産は、春作の最大ピークとなり順調な出荷が続く見通し。総体量が増加するため相場を緩めながらの販売となる予想。4月下旬の価格は、埼玉産AL(8kg)で3,200-3,000円の弱含みを見込む。
トマト	入荷量 (t)	1,802	2,385	86%	入荷量		熊本	栃木	愛知	4月中旬 結果	熊本・栃木産中心に愛知産の加わる出回りとなった。熊本産は、気温上がり生育順調で肥大が進み大玉傾向となり入荷量は大幅に増量となった。栃木産は、3月末から4月上旬に増量した反動で入荷量はやや減少した。総体量は前旬並みで、価格は熊本産4kgALで1,400-1,300円の保合で推移した。
	価格 (円/kg)	404	410	99%	価格		33%	26%	11%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き、熊本・栃木産中心に愛知産の加わる出回りとなろう。熊本産は、高温が続く予報から大玉傾向が進み出荷量は増加する見込み。栃木産は、今後に収穫する段は着果は良好で気温上昇により生育進み出荷量は増量となる見通し。4月下旬の価格は、熊本産ALで1,300-1,200円の弱含みを見込む。
いちじ	入荷量 (t)	1,408	1,743	92%	入荷量		栃木	福岡	茨城	4月中旬 結果	栃木産主力に福岡・茨城産の加わる出回りとなった。関東産は、4番果の出荷ピークが続き入荷量は横這いで推移した。九州産は3番果の終盤で、入荷量は前旬に比べ減少となった。各産地ともに出荷終盤で品質・食味が低下傾向で店舗での回転率を上げるため相場を下げての販売となった。価格は、栃木産Lパックで前半350円、後半330円の弱含みで推移した。
	価格 (円/kg)	1,293	1,185	109%	価格		50%	13%	12%	4月下旬 ～5月上旬 見通し	引き続き、栃木産主力に福岡・茨城産の加わる出回りとなろう。関東産は4番果が終盤となり入荷量は減少を見込む。九州産は、3番果は終了に向かうが4番果が徐々に増加し入荷量は微減の予想。総体量は減少するが品質低下から4月下旬の価格は、栃木産Lパックで300-280円の弱含みを見込む。

3. 今後の見通し

佐賀産たまねぎは、天候に恵まれ生育順調・肥大も良好だが降雹・降雨の影響で掘り取り作業が滞り出荷増量が遅れている。今後は天候回復すれば掘り取り作業進み5月GW前後から本格的な出荷となる見通し。今後、量販店では春物の売り場拡大が進むが佐賀産の入荷量が増加する5月上旬までは堅調相場で推移する見通し。